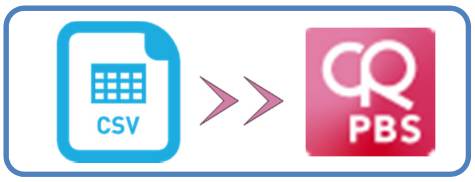
「外部データ取込」による仕訳作成

お客様が作成・取得した CSV ファイルを仕訳データとして簡単にインポートすることができる外部データ取込機能をリリースいたします。　（メンテナンス予定 2024/07/17）



- 仕訳日記帳
- 現金出納帳
- 銀行帳
- 総勘定元帳

マッチングして インポート

目次

①	取込ができるファイルの要件	P3
②	操作権限の設定（初回のみ）	P4
③	外部データ取込の起動	P6
④	マッチングパターンの作成	P7
	Ⅰ. マッチングパターンとは	P7
	Ⅱ. マッチングパターン登録	P8
	Ⅲ. マッチングパターン編集	P10
	Ⅳ. マッチングの注意点	P12
⑤	取込前の確認	P13
	Ⅰ. CSV ファイルの事前確認	P13
	Ⅱ. PB システムの事前確認	P15
⑥	取込の実行	P17
⑦	取込データの調整	P20
	Ⅰ. 取込データの注意点	P20
	Ⅱ. 必須項目について	P21
	Ⅲ. コピー、貼り付け機能	P22
	Ⅳ. 不要な取込データの削除	P22
⑧	仕訳データとして［F2 登録］実行	P23
⑨	登録された仕訳データの調整	P24

「外部データ取込」による仕訳作成

外部データ取込 ›

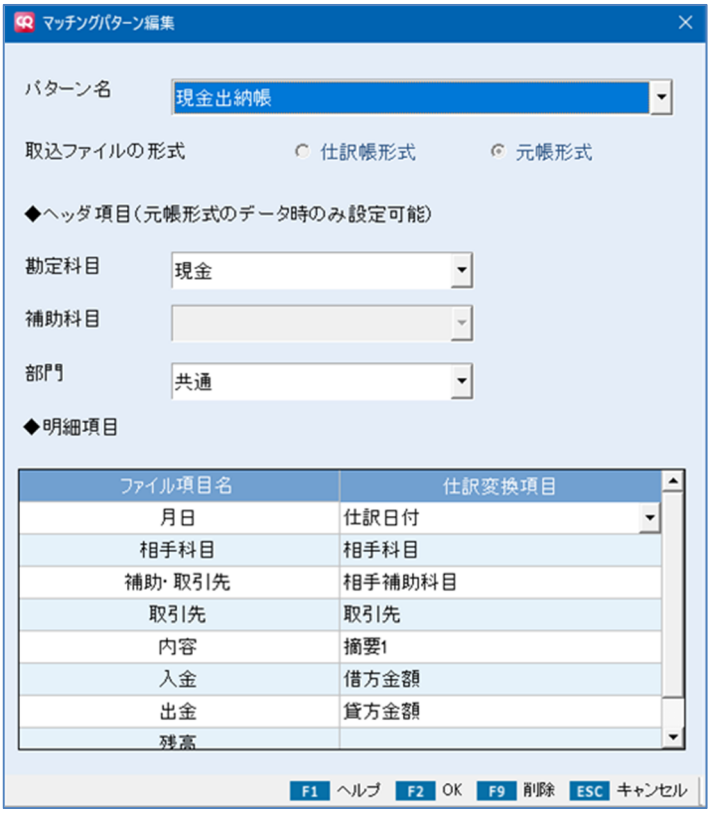
メニューバーに新メニュー「外部データ取込（β）」が追加されます。

あらかじめ登録した「マッチングパターン」をもとに、お客様が作成・取得した汎用 CSV ファイルのデータを CASH RADAR PB システムの仕訳データ形式に変換します。

＜活用例＞

■ 経理担当者が Excel で作成している出納帳
■ 販売管理ソフトで作成されたファイル
■ ネットバンキングの明細書ファイル

これらを仕訳データへ変換

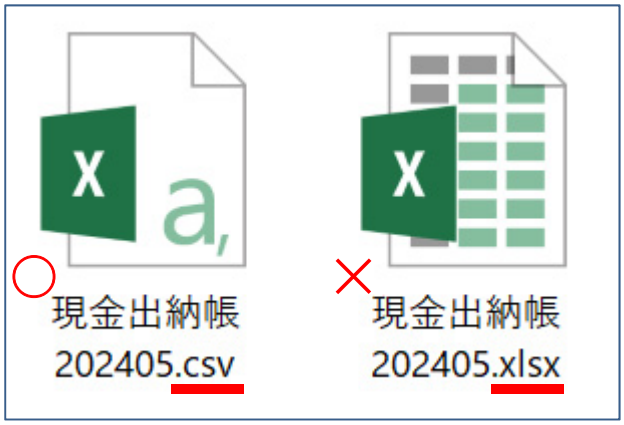


「外部データ取込」による仕訳作成

①	取り込みができるファイルの要件

以下①②の要件をともに満たしたファイルであれば「外部データ取込」を実行することが可能です。

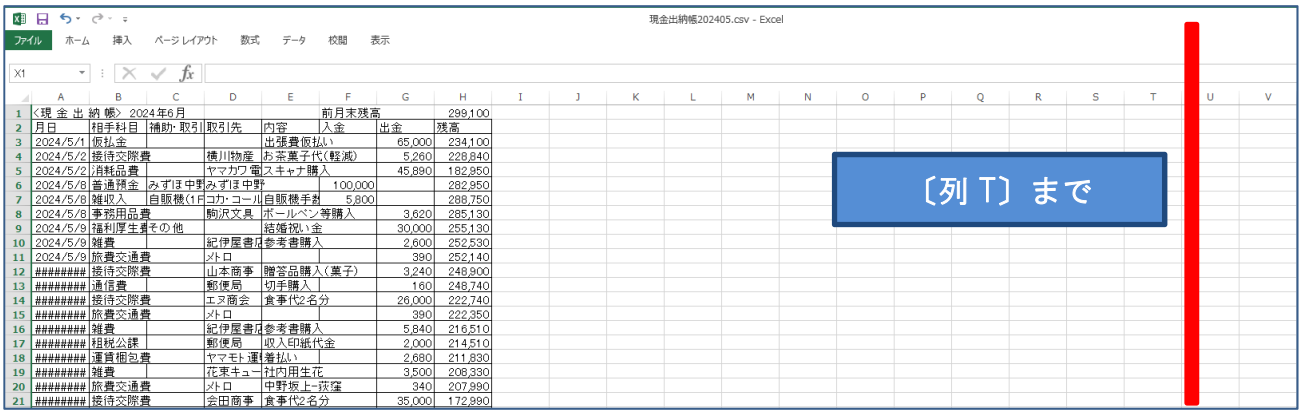
① ファイル種類が「CSV」である



取り込みは拡張子が［.csv］であるファイルが対象になります。
MicrosoftExcel などの表計算アプリで作成したデータを取り込む場合は、CSV ファイルとして保存を行う必要があります。

② カラム数が 20 以下である

「カラム数」とは表形式で表示した場合の「列の数」です。
この列の数が 20 以下である CSV ファイルが取り込みの対象になります。



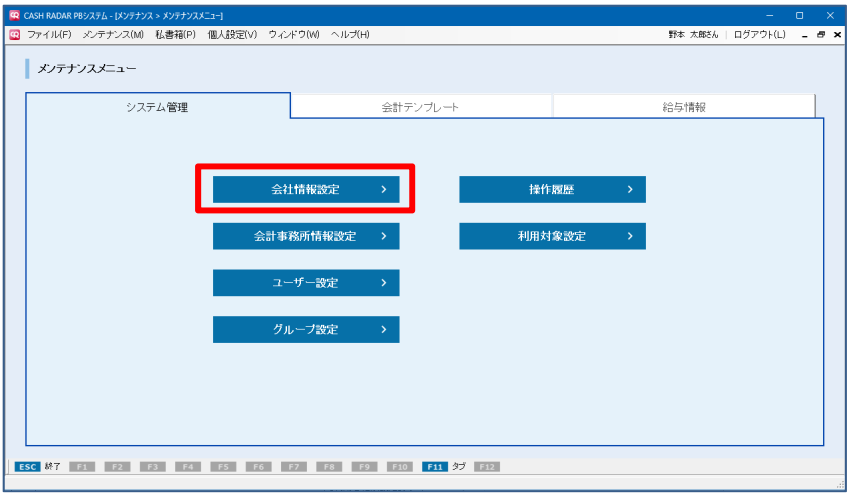
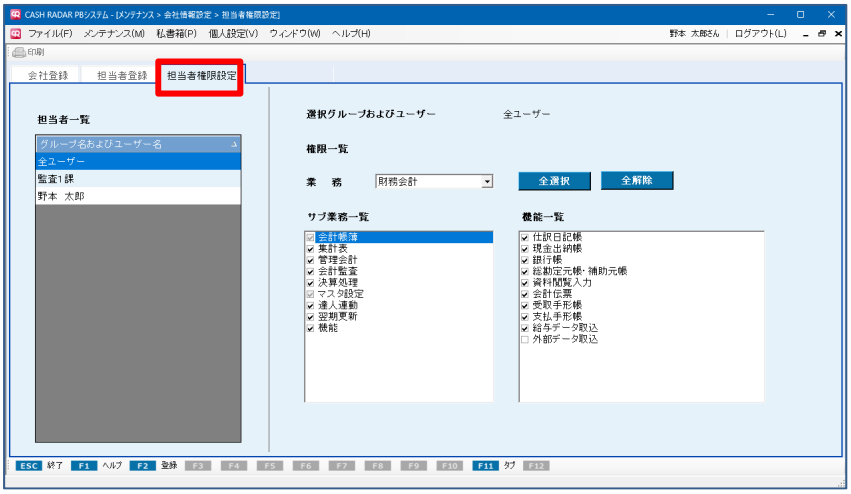
〈現 金 出 納 帳〉 2024年6月					前月末残高	299,100
月日	相手科目	補助・取引	取引先	内容	入金	出金	残高
2024/5/1	仮払金			出張費仮払い		65,000	234,100
2024/5/2	接待交際費		横川物産	お茶菓子代(軽減)		5,260	228,840
2024/5/2	消耗品費		ヤマカワ電	スキャナ購入		45,890	182,950
2024/5/8	普通預金	みずほ中野	みずほ中野		100,000		282,950
2024/5/8	雑収入	自販機(1F	コカ・コール	自販機手数	5,800		288,750
2024/5/8	事務用品費		駒沢文具	ボールペン等購入		3,620	285,130
2024/5/9	福利厚生費	その他		結婚祝い金		30,000	255,130
2024/5/9	雑費		紀伊屋書店	参考書購入		2,600	252,530
2024/5/9	旅費交通費		メトロ			390	252,140
########	接待交際費		山本商事	贈答品購入(菓子)		3,240	248,900
########	通信費		郵便局	切手購入		160	248,740
########	接待交際費		エヌ商会	食事代2名分		26,000	222,740
########	旅費交通費		メトロ			390	222,350
########	雑費		紀伊屋書店	参考書購入		5,840	216,510
########	租税公課		郵便局	収入印紙代金		2,000	214,510
########	運賃梱包費		ヤマモト運	着払い		2,680	211,830
########	雑費		花来キュー	社内用生花		3,500	208,330
########	旅費交通費		メトロ	中野坂上-荻窪		340	207,990
########	接待交際費		会田商事	食事代2名分		35,000	172,990

CSV ファイルに列が 21 以上ある場合は、不要な列を削除して列が 20 以下になるよう調整を行う必要があります。
MicrosoftExcel で表示した場合は［列 T］までが上限となります（なお、行の上限は 5,000 です）。

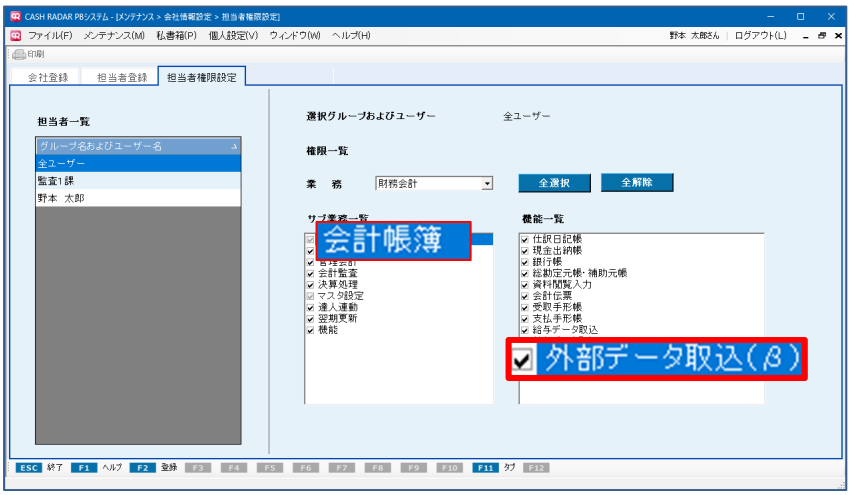
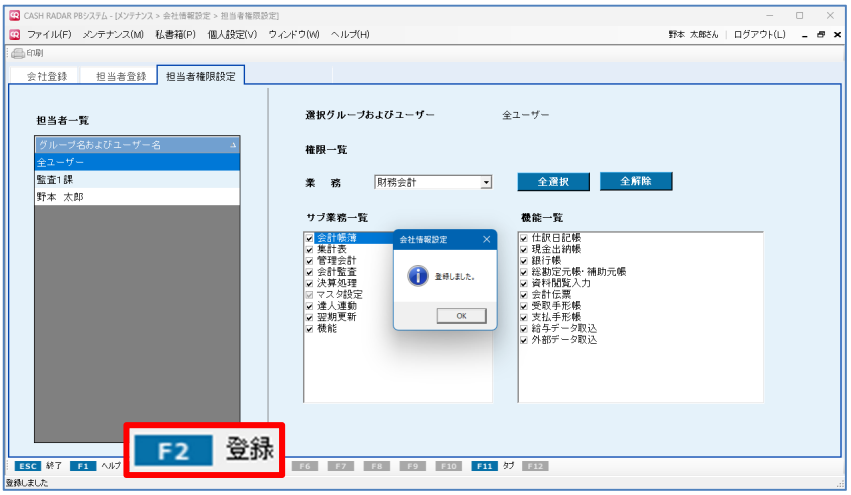
「外部データ取込」による仕訳作成

②	操作権限の設定（初回のみ）

［外部データ取込］は新規メニューであるため、操作権限を付与する必要があります。

(1)		メインメニュー[メンテナンス]をクリックします。
(2)		システム管理タブ[会社情報設定]をクリックします。
(3)		対象の会社を選択し、[担当者権限設定]タブを開きます。 顧問先端末の場合は[利用者権限設定]タブとなります。

「外部データ取込」による仕訳作成

(4)		ユーザーを選択し、業務[財務会計]、サブ業務[会計帳簿]をそれぞれ選択したうえで、「外部データ取込(β)」のチェックを有効にします。
(5)		[F2 登録]をクリックします。 外部データ取込を利用するすべての会社データで行います。

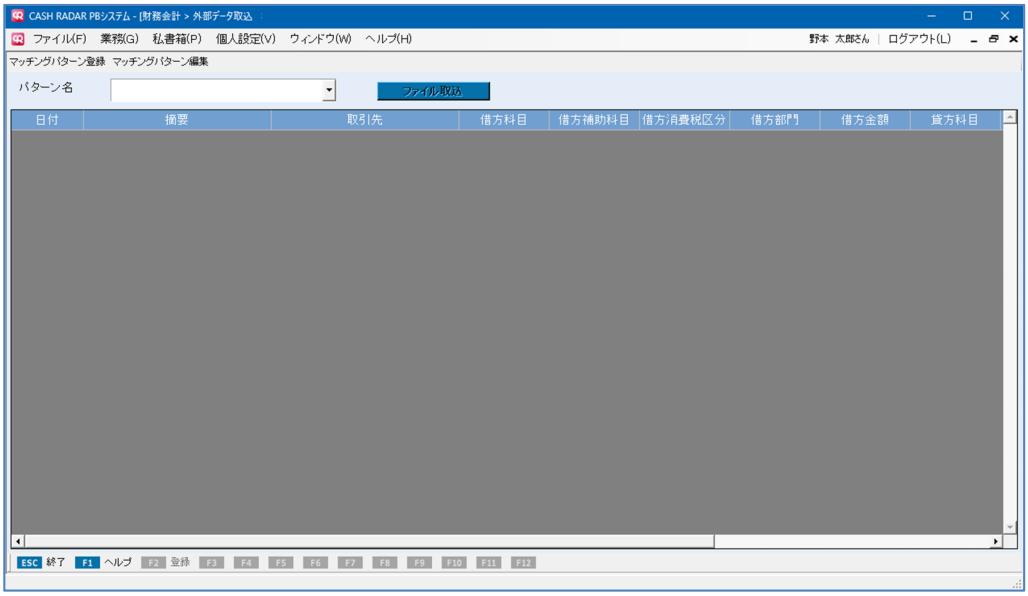
「外部データ取込」による仕訳作成

③	外部データ取込の起動

画面上部メニューバーから［業務(G)］－［会計(Z)］－［会計帳簿］－［外部データ取込（β）］の順にクリックをすることで外部データ取込が起動します。

※ 会計帳簿タブ内にメニューボタンはありません。

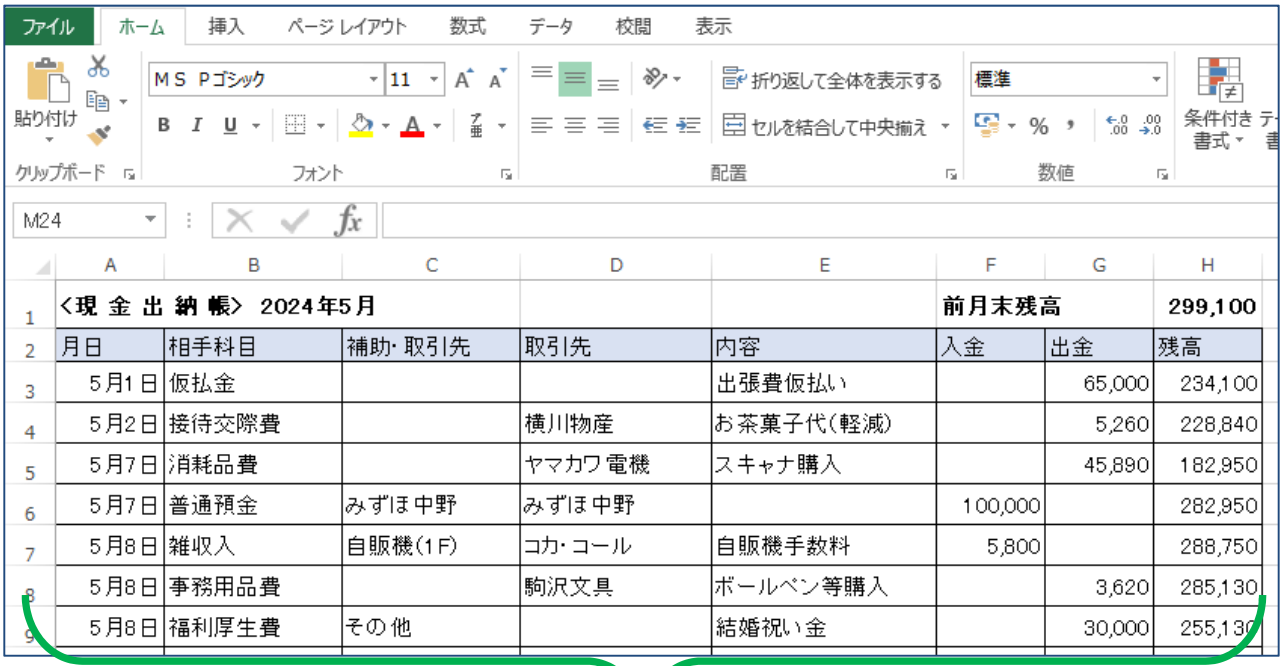
外部データ取込の初期画面



「外部データ取込」による仕訳作成

④	マッチングパターンの作成

Ⅰ．マッチングパターンとは



	A	B	C	D	E	F	G	H
1	〈現 金 出 納 帳〉 2024年5月					前月末残高		299,100
2	月日	相手科目	補助・取引先	取引先	内容	入金	出金	残高
3	5月1日	仮払金			出張費仮払い		65,000	234,100
4	5月2日	接待交際費		横川物産	お茶菓子代(軽減)		5,260	228,840
5	5月7日	消耗品費		ヤマカワ電機	スキャナ購入		45,890	182,950
6	5月7日	普通預金	みずほ中野	みずほ中野		100,000		282,950
7	5月8日	雑収入	自販機(1F)	コカ・コール	自販機手数料	5,800		288,750
8	5月8日	事務用品費		駒沢文具	ボールペン等購入		3,620	285,130
9	5月8日	福利厚生費	その他		結婚祝い金		30,000	255,130

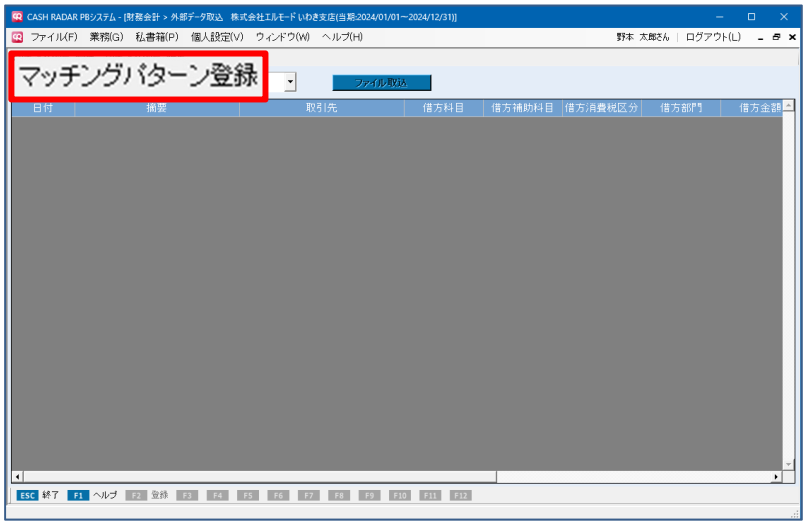
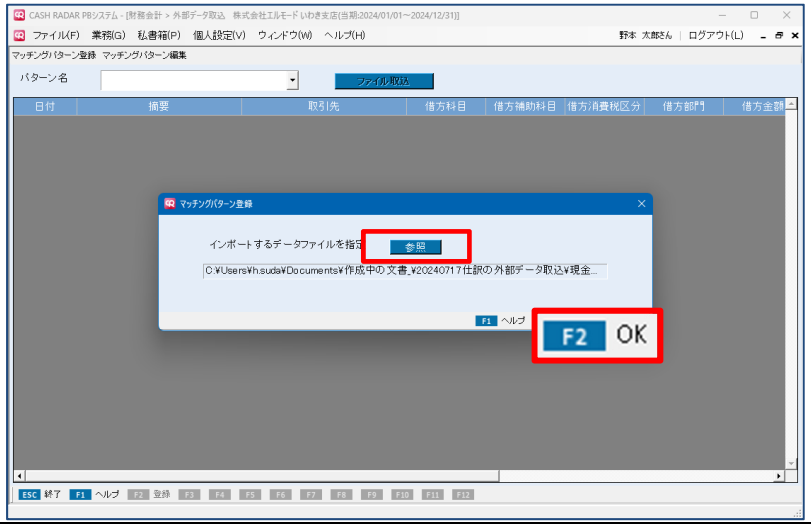
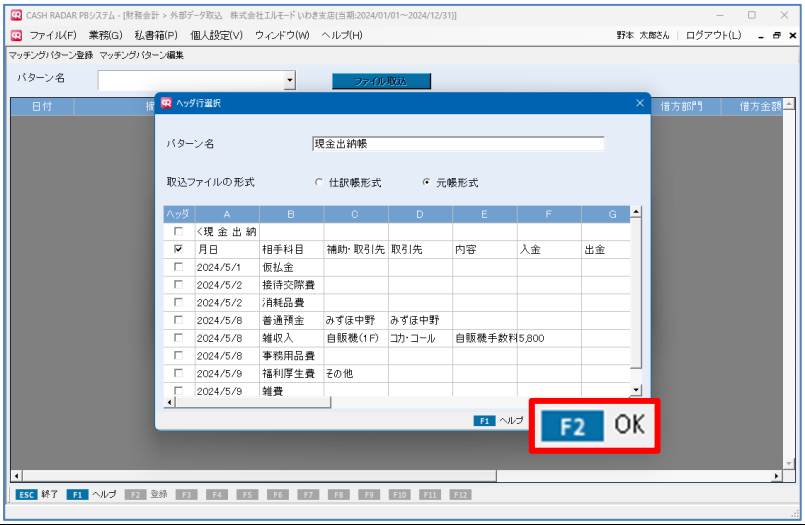
CSV ファイル内の各項目を PB システム仕訳情報のどの項目に変換するか？

＜用意するもの＞

「ひな型」となる CSV ファイル（実際に取込を行う CSV ファイルでも可。）

「外部データ取込」による仕訳作成

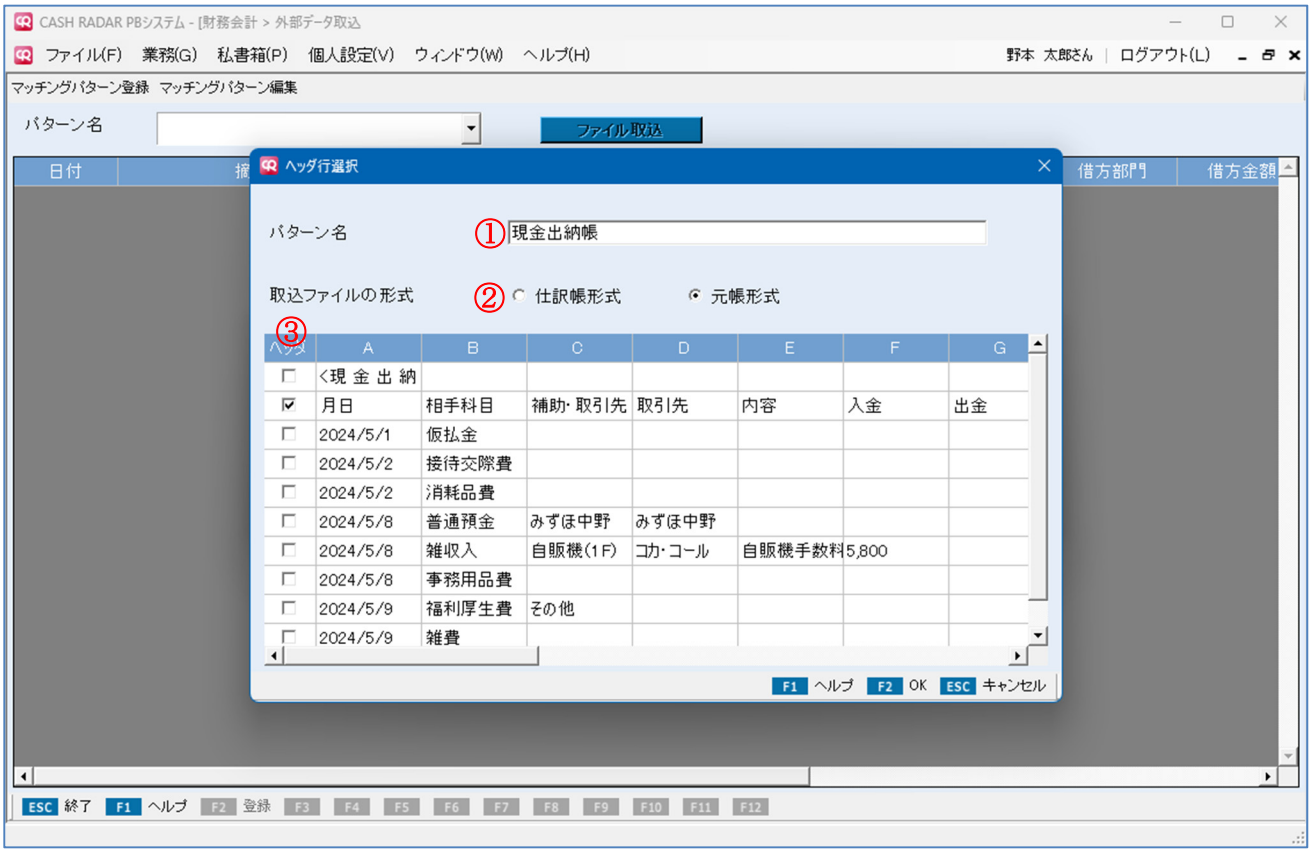
Ⅱ．マッチングパターン登録

(1)		外部データ取込の画面上部[マッチングパターン登録]をクリックします。
(2)		参照ボタンからひな型となる CSV ファイルを選択し、OK をクリックします。
(3)		ヘッダ行選択ダイアログの各項目を選択・入力し、[F2 登録]をクリックします。 この後[マッチングパターン編集]で詳細設定を行います。

マッチングパターンは 10 件まで登録ができます。

「外部データ取込」による仕訳作成

【ヘッダ行選択】ダイアログ



①	パターン名	マッチングパターンの名称を入力します。 実際に取り込みを行う場合に選択する名称となります。
②	取込ファイルの形式	CSV ファイルの構成に応じて〔仕訳帳形式〕〔元帳形式〕のいずれかをチェックします。 〔仕訳帳形式〕 CSV 内に「借方科目」「貸方科目」それぞれにあたるカラム（列）がある場合 〔元帳形式〕 CSV 内に「相手科目」にあたるカラム（列）だけしかない場合
③	ヘッダ	展開された CSV ファイルの内容のうち「ヘッダ情報」にあたる 1 行をチェックします。 このヘッダ情報に対し［マッチングパターン編集］で PB システムの仕訳情報を割り当てます。

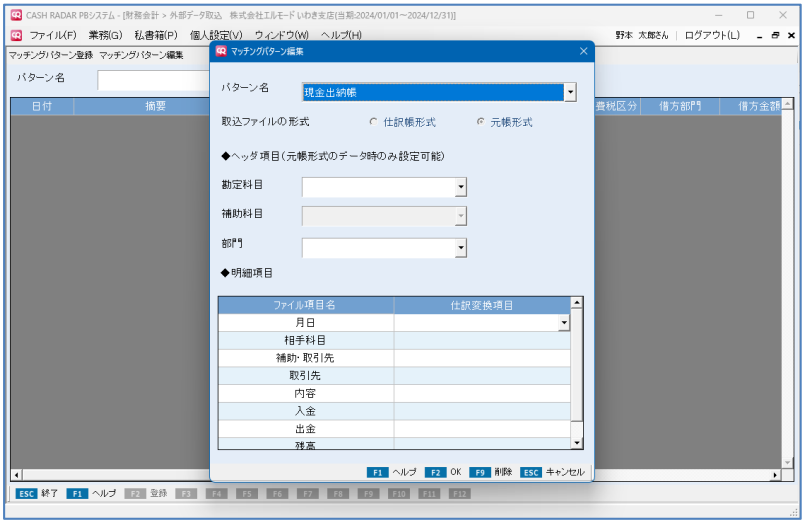
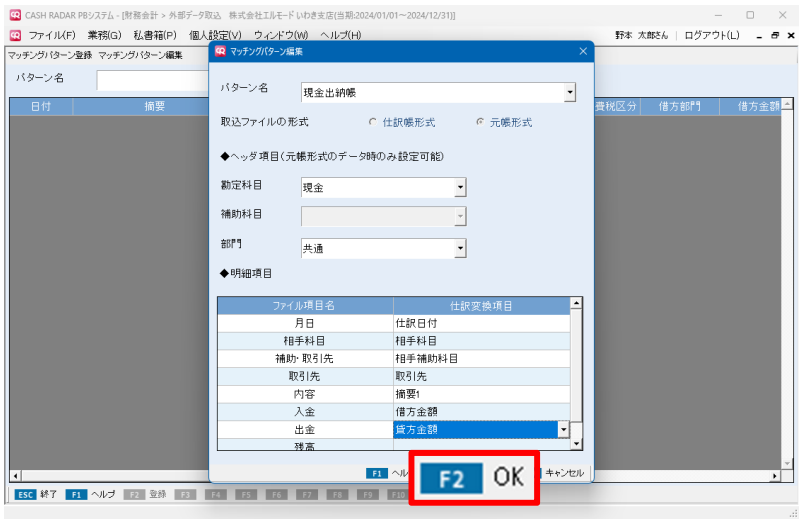
ヘッダ情報について

	A	B	C	D	E	F	G
1	〈現 金 出 納 帳〉 2024年5月					前月末残高	
2	月日	相手科目	補助･取引先	取引先	内容	入金	出金
3	5月1日	仮払金			出張費仮払い		65,000
4	5月2日	接待交際費		横川物産	お茶菓子代（軽減）		5,260

ヘッダ情報にあたる行は必須となりますので、事前に CSV 上で作成しておいてください。

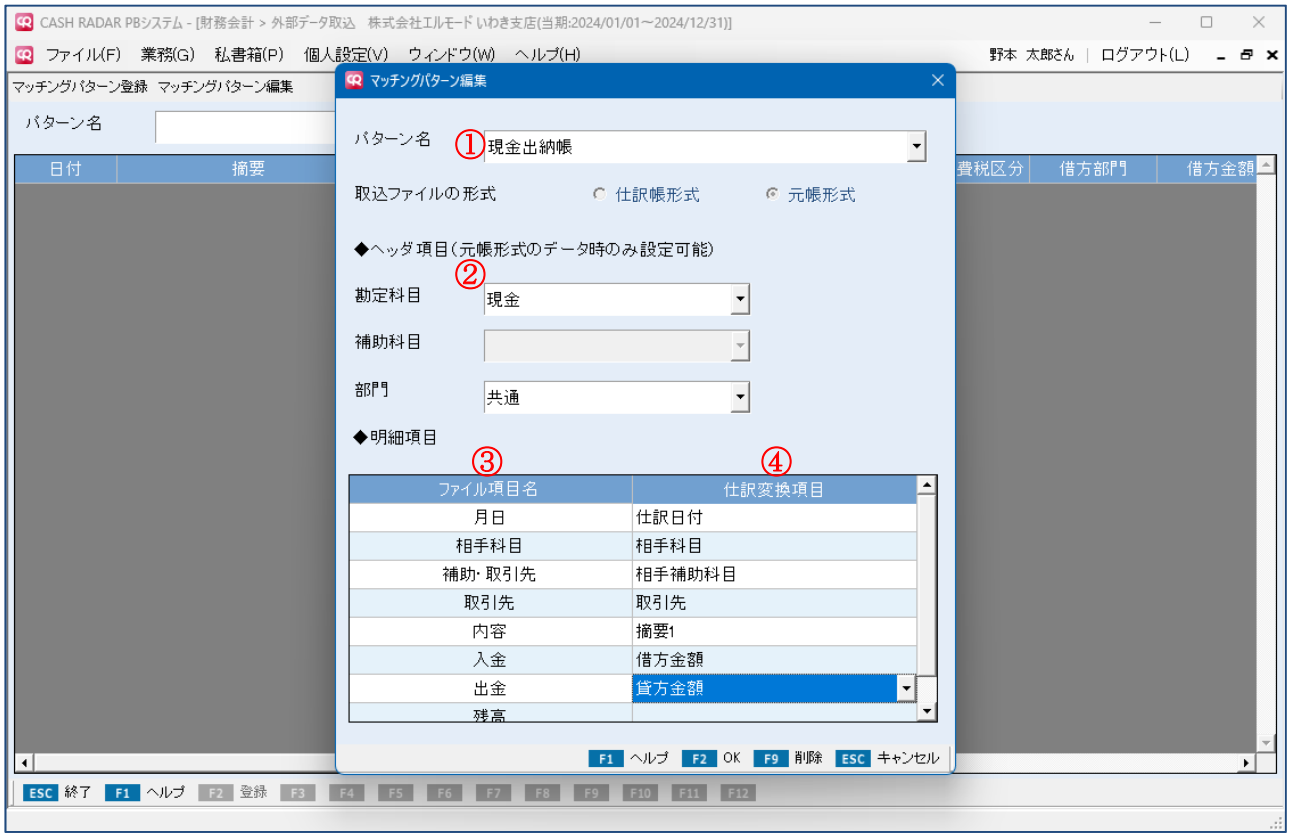
「外部データ取込」による仕訳作成

Ⅲ. マッチングパターン編集

(1)		外部データ取込の画面上部[マッチングパターン編集]をクリックします。 （CSV ファイルは使用しません）
(2)		マッチングパターン登録で登録したパターンを選択します。
(3)		CSV から取得したヘッダ情報とPBシステムの仕訳情報をマッチングして[F2OK]をクリックします。

「外部データ取込」による仕訳作成

【マッチングパターン編集】ダイアログ



①	パターン名/取込ファイルの形式	マッチングパターン登録で登録した名称を選択します。 取込ファイルの形式は変更できません。
②	ヘッダ項目	元帳形式の場合に、その元帳における“自科目”の情報を設定します。 （仕訳帳形式の場合は非アクティブとなり設定不要です）
③	明細項目 「ファイル項目名」	[マッチングパターン登録]で選択・登録された CSV ファイルのヘッダ情報が表示されます。変更はできません。
④	明細項目 「仕訳変換項目」	ファイル項目名欄の各項目に対する PB システムの仕訳情報を選択します。 該当する仕訳情報がない場合は空欄でかまいません。

「仕訳変換項目」欄で選択ができる PB システムの仕訳情報

仕訳日付	借方科目	※1	貸方科目	※2
摘要 1	借方補助科目	※1	貸方補助科目	※2
摘要 2	借方部門	※1	貸方部門	※2
取引先	借方金額			
証 No	貸方金額			

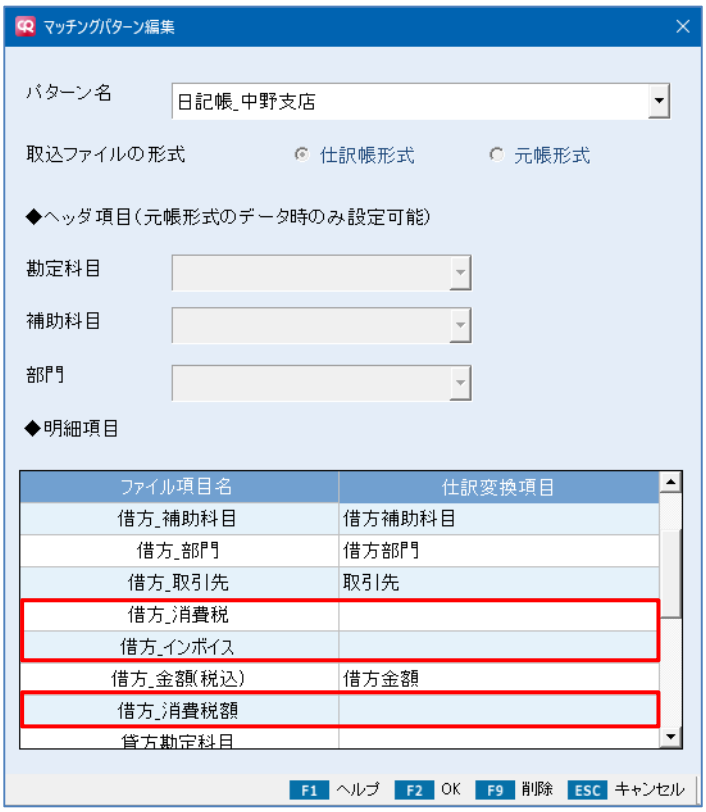
※1＞「元帳形式」の場合は“借方”を“相手”と読み替える（相手科目、相手補助科目、相手部門）

※2＞「元帳形式」の場合は表示なし

「外部データ取込」による仕訳作成

Ⅳ. マッチングの注意点

消費税関連はマッチング、取込とも対象外



外部データ取込では、消費税情報を取り込むことはできません。
CSV ひな型（ファイル項目名欄）に消費税率や消費税額がある場合、PB システム側の仕訳変換項目は空欄として下さい。

なお、仕訳の金額は総額で取り込まれますので、各仕訳における消費税設定は取込実行後に会計帳簿メニューにおいて行っていただくことになります。（P25）

摘要 1、2 について

PB システム側の仕訳変換項目において「摘要 1」「摘要 2」を設定することが可能です。
これは摘要に該当する項目が 2 つある場合に対応するための設定となり、2 つともマッチングすると PB システムの仕訳摘要欄には「摘要 1＋摘要 2」の 1 つの文言が入ります。

必須項目

PB システム側の仕訳変換項目は「仕訳日付」と「金額（※)」が必須となります。
その他項目を空欄としても取り込みは可能です。

（※）金額は借方/貸方のいずれかのみでもかまいません。

「外部データ取込」による仕訳作成

⑤	取込前の確認

Ⅰ．CSV ファイルの事前確認

マッチングパターンとして登録された「ひな型」と同じ構成の CSV ファイルを使用する

取込に使用する CSV ファイルは、その「ヘッダ情報」が、マッチングパターン登録で登録された「ヘッダ情報」のカラム数（列数）、および文言といずれも完全一致している必要があります。
また、例えば「ヘッダ情報」が 2 行目にあるマッチングパターンを使用する場合、取込に使用する CSV ファイルにおいてもヘッダ情報が 2 行目にある必要があります。
この場合、1 行目の情報を一致させる必要はありません。

＜例＞ヘッダ情報が 2 行目にあるマッチングパターン

取込ファイルの形式　◉ 仕訳帳形式　○ 元帳形式

ヘッダ	A	B	C	D	E	F	G
☐	<現 金 出 納						
☑	月日	相手科目	補助･取引先	取引先	内容	入金	出金
☐	2024/5/1	仮払金					
☐	2024/5/2	接待交際費					

◆ 取込 NG･･･ヘッダ情報が 3 行目に位置している

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	<現金出納帳>							
2	恵比寿支店							
3	月日	相手科目	補助･取引	取引先	内容	入金	出金	残高
4	2024/5/1	仮払金			出張費仮払い		65,000	234,100
5	2024/5/2	接待交際費		横川物産	お茶菓子代(軽減)		5,260	228,840

◆ 取込 NG･･･ヘッダ項目の文言不一致（1 列目が「月日」であるところ「対象日付」になっている）

	A	B	C	D	E	F	G	H
1	<現金出納帳>							
2	対象日付	相手科目	補助･取引	取引先	内容	入金	出金	残高
3	2024/5/1	仮払金			出張費仮払い		65,000	234,100
4	2024/5/2	接待交際費		横川物産	お茶菓子代(軽減)		5,260	228,840

「外部データ取込」による仕訳作成

仕訳日付は原則 yyyy/mm/dd 形式にする

PB システムの「仕訳日付」にあたる値は、スラッシュ『/』入りの 8 桁が原則です。
以下、スラッシュの箇所が『.』『-』であっても適用可能です。

2024/05/01	○	標準の形式＝yyyy/mm/dd
2024/5/1	○	mm/dd の先頭ゼロをカット
24/05/01	×	yy/mm/dd
20240501	×	スラッシュなし

R06/05/01	○	yy/mm/dd （和暦）
R6/5/1	○	yy/mm/dd の先頭ゼロをカット
06/05/01	×	yy/mm/dd （和暦、元号カット）

2024 年 05 月 01 日	○	yyyy 年 mm 月 dd 日
2024 年 5 月 1 日	○	mm 月 dd 日の先頭ゼロをカット

令和 06 年 05 月 01 日	○	yy 年 mm 月 dd 日（和暦）
令和 6 年 5 月 1 日	○	mm 月 dd 日の先頭ゼロをカット（和暦）
06 年 05 月 01 日	×	yy 年 mm 月 dd 日（和暦、元号カット）
令和６年５月１日	×	和暦　数字全角

合計や小計にあたる行は削除する

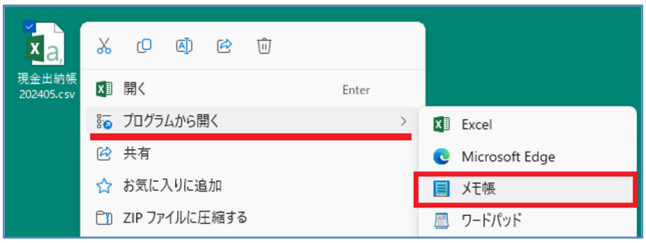
「ヘッダ情報」以降の行はマッチングパターンに対応する情報が入っている必要があります。
合計や小計などのように仕訳形式ではない行は削除をしておく必要があります。

32	2024/5/30	接待交際費		(株)アキバ	食事代3名分		34,800	140,050
33	2024/5/31	旅費交通費		メトロ	東京-中野坂上		390	139,660
34	2024/5/31	会議費		スターテックス	システム会議		1,296	138,364
35	合　計					205,800	366,536	138,364
36								
37								

←削除

＜CSV ファイルの調整について＞

CSV における値や行の修正および保存は、MicrosoftExcel などの表計算ソフトではなく「メモ帳」などのテキストソフトを利用することをおすすめします。



「外部データ取込」による仕訳作成

Ⅱ．PB システムの事前確認

科目と部門の「一致」

CSV ファイル内の値のうち、仕訳変換項目の「勘定科目」「補助科目」「部門」にあたるものは、文字列に基づいて PB システムの科目設定、部門設定に登録されているマスタに変換されます。

優先順位 ①**完全一致**　※同名の勘定科目における優先順位は、貸借科目→損益科目→製造原価科目の順(②も同様)

②**前方一致**　※完全一致するマスタがない場合は、前方一致するマスタの中で最も No が若いものを適用する

＜例 1＞ 完全一致あり

CSV ファイル	PB システム	マッチング結果
株式会社　中野坂上	No001　株式会社　中野新橋	No003　株式会社　中野坂上
	No002　株式会社　中野富士見町	
	No003　株式会社　中野坂上	

＜例 2＞ 完全一致なし、前方一致あり

CSV ファイル	PB システム	マッチング結果
株式会社　中野	No001　株式会社　中野新橋	No001　株式会社　中野新橋
	No002　株式会社　中野富士見町	
	No003　株式会社　中野坂上	

◆「株式会社　中野」が含まれるマスタのうち、最も No が若いマスタが適用される

＜例 3＞ 一致なし

CSV ファイル	PB システム	マッチング結果
株式会社中野	No001　株式会社　中野新橋	（空欄）
	No002　株式会社　中野富士見町	
	No003　株式会社　中野坂上	

◆ CSV 側の「株式会社」と「中野」の間に半角スペースがないため、一致なしと判断される

意図しないマッチングを避けるために「勘定科目」「補助科目」「部門」は CSV と PB システムで文字列が【完全一致】するように事前確認、調整を行っていただくことををおすすめします。

また、文字列一致の判断においては以下の要素も含まれます。

・文字間のスペース

・カナや英数の半角 or 全角

・アルファベットの大文字 or 小文字

「外部データ取込」による仕訳作成

PB システム［マスタ作成］メニューとの関連

PB システム「仕訳変換項目」の変換基準

仕訳変換項目	マスタ照合	
仕訳日付	あり	yyyy/mm/dd 形式で取り込まれる（P14 参照）
勘定科目	あり	CSV ファイル内の文言をもとに「科目設定」および「部門設定」に登録されているマスタを適用して取り込まれる。（P15 参照）
補助科目	あり	
部門	あり	
摘要（1，2）	なし	CSV ファイル内の文言のとおり取り込まれる。
取引先	なし	
証 No	なし	

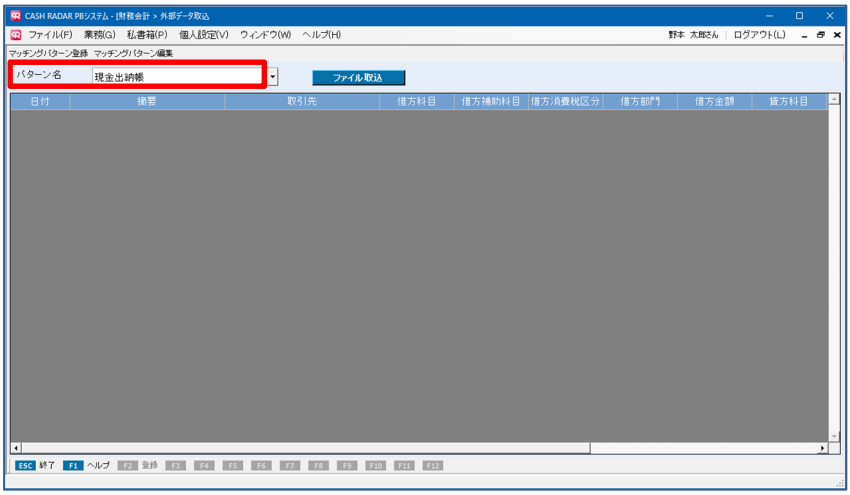
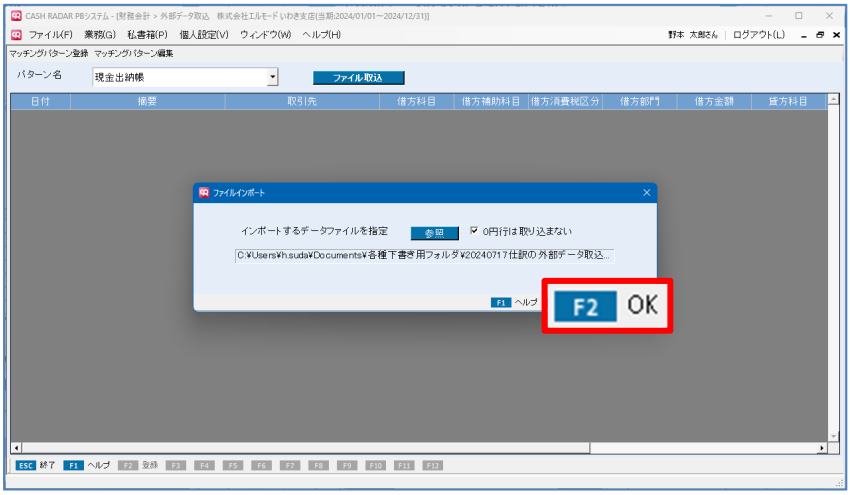
科目、部門以外の仕訳変換項目は PB システム側のマスタと照合を行いません。マスタ登録の有無を問わず、CSV 内の文言がそのまま仕訳に適用されます。
ただし、「取引先」については、同名のマスタがある場合にその適格区分（［適］or［免］）が名称の先頭に表示されます。

＜文字数による制御＞

摘要…1、2 合わせて全角 20 文字/半角 40 文字以内。超えた場合は該当文字をカットして取込実行。
取引先…全角 20 文字/半角 40 文字以内。超えた場合は該当文字をカットして取込実行。
証 No…半角 4 文字以内。超えた場合は取込時にエラー発生

「外部データ取込」による仕訳作成

⑥	取込の実行

(1)		マッチングパターンの「パターン名」を選択します。
(2)		[ファイル取込]をクリックし、[参照]から取込を行う CSV ファイルを選択します。
(3)		必要に応じ「0 円行は取り込まない」をチェックし、[F2OK]をクリックします。

「外部データ取込」による仕訳作成

(4)		取込結果が表示されます。 この時点では仕訳データとして登録されておりません。 各項目の確認・調整を行って下さい。

日付	摘要	取引先	借方科目	借方補助科目	借方消費税区分	借方部門	借方金額	貸方科目
2024/05/08		みずほ中野	現金			共通	100,000	販売促進費
2024/05/08	自販機手数料	コカ・コール	現金			共通	5,800	雑収入
2024/05/08	ボールペン等購入	駒沢文具	事務用品費		課仕入		3,620	現金
2024/05/09	結婚祝い金		福利厚生費		課仕入		30,000	現金
2024/05/09	参考書購入	紀伊屋書店	雑費		課仕入		2,600	現金
2024/05/09		メトロ	旅費交通費		課仕入		390	現金
2024/05/10	贈答品購入(菓子)	山本商事	接待交際費		軽仕入		3,240	現金
2024/05/11	切手購入	郵便局	通信費		課仕入		160	現金
2024/05/12	食事代2名分	エヌ商会	接待交際費		軽仕入		26,000	現金
2024/05/13		メトロ	旅費交通費		課仕入		390	現金
2024/05/14	参考書購入	紀伊屋書店	雑費		課仕入		5,840	現金
2024/05/15	収入印紙代金	郵便局	租税公課		税外		2,000	現金
2024/05/16	着払い	ヤマモト運輸	運賃梱包費		課仕入		2,680	現金
2024/05/17	社内用生花	花束キューピット	雑費		課仕入		3,500	現金
2024/05/18	中野坂上→荻窪	メトロ	旅費交通費		課仕入		340	現金
2024/05/19	食事代2名分	会田商事	接待交際費		軽仕入		35,000	現金
2024/05/20	コピー用紙	ゼロックス	事務用品費		課仕入		10,800	現金
2024/05/21	ゴミ袋	ローセン	雑費		課仕入		580	現金
2024/05/22		みずほ中野	現金			共通	100,000	普通預金
2024/05/23	打ち合わせ	ドソール	会議費		課仕入		700	現金

取込実行時に想定されるエラー

【インポート中のエラー発生により、処理は中止されました。(FNC_000087)】

・CSV ファイルを開いたまま[ファイル取込]をクリックした。

【マッチングパターン登録された明細項目と CSV ファイルの明細項目が一致しません。(FNC_000199)】

・マッチングパターン(ひな型 CSV)と取込 CSV の構成が異なる。

例〉ヘッダ情報が位置する行が異なる(参照 P13)

名称が異なるヘッダ情報がある

必要なヘッダ情報が取込 CSV ファイルにない、およびその逆

【xx 行目　仕訳日付が未入力です。(FNC_000014)】

【xx 行目　仕訳日付の入力に誤りがあります。(FNC_000015)】

【xx 行目　借方金額及び貸方金額が未入力です。(FNC_000014)】 ほか

・必須項目である仕訳日付、貸借金額が空欄あるいは不正な文字列になっている。

「xx 行目」にヘッダ情報は含まれない。

なお、仕訳日付と貸借金額以外が未入力の場合は、空欄として取り込まれる

【CSV ファイルがカンマ区切りのデータではありません。(FNC_000088)】

・取込 CSV ファイルに不正な行がある。 ※テキストファイルで開いて確認

「外部データ取込」による仕訳作成

①	日付	yyyy/mm/dd形式で取り込まれます。 ※ 取込画面では表示は日付順になりません。 CSV ファイル内の並び順のまま表示されます。
②	摘要	CSV ファイル内の文言のとおり取り込まれます。
③	取引先	CSV ファイル内の文言のとおり取り込まれます。取引先設定に同名のマスタが存在する場合は、当該マスタの適格区分が先頭に表示されます。
④	借方科目 貸方科目	CSV ファイル内の文言に基づき、以下の優先順位により、科目設定のマスタが適用されます(どちらにも当たらない場合は空欄が適用されます)。
⑤	借方補助科目 貸方補助科目	1、完全一致 2、完全一致するマスタがない場合は前方一致 ※最も若い No のマスタを適用
⑥	借方消費税区分 貸方消費税区分	取り込まれた借方科目および貸方科目の PB システム科目設定における「消費税区分」がセットされます。 インボイスの経過措置区分は、取込実行(F2 登録実行)後に調整します。
⑦	借方部門 貸方部門	CSV ファイル内の文言に基づき、以下の優先順位により、部門設定のマスタが適用されます(どちらにも当たらない場合は空欄が適用されます)。 1、部門名→部門略称の順で完全一致 2、完全一致するマスタがない場合は部門名→部門略称の順で前方一致 ※最も若い No のマスタを適用
⑧	借方金額 貸方金額	CSV ファイル内の値のとおり「総額」として取り込まれます。
⑨	証 N o	CSV ファイル内の文言のとおり取り込まれます。

「外部データ取込」による仕訳作成

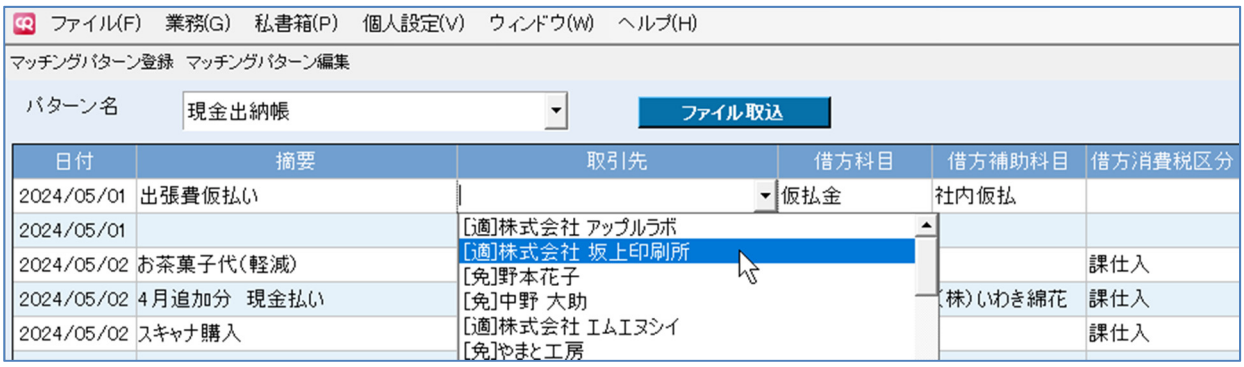
⑦	取込データの調整

Ⅰ．取込データの注意点

下記 2 例のとおり、外部データ取込の画面で仕訳項目の内容を修正しても他項目への連動や再集計は行われません。
よって、外部データ取込の画面では必須項目の補完など最小限の修正を行い、仕訳データとしての詳細調整は［F2 登録］後に会計帳簿メニューで行っていただくことをおすすめします。

「取引先」欄について

取引先は、ドロップダウンリストによりマスタ登録されている項目を選択・変更することが可能ですが、選択した取引先に基づく「インボイス経過措置」の判定は行われません。
（外部データ取込画面ではインボイスの設定自体行うことができません。）



「消費税区分」欄と「金額」欄について

消費税区分の選択・変更は可能ですが、変更した区分に応じて金額が変更（再計算）される事はありません。

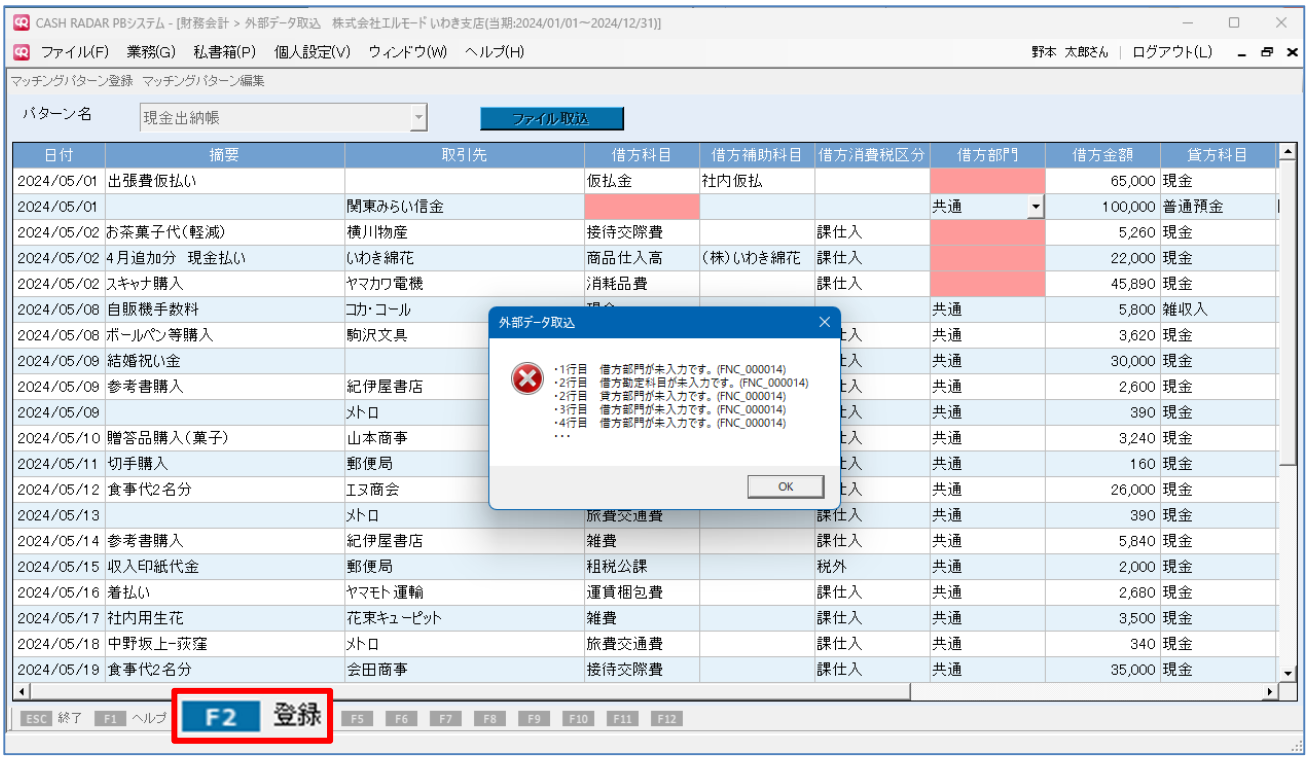
＜例＞
非課仕:5,000 円の消費税区分を「課仕入」へ変更しても金額(＝総額)は「5,000 円」のままになります。

マイナス金額について

CSV 内の「金額」にあたる値がマイナス値であっても取込は実行されます。
この場合、PB システム側で値をプラスに変換し、かつ貸借科目を入れ替えます（逆仕訳として取込）。

「外部データ取込」による仕訳作成

Ⅱ．必須項目について



日付	摘要	取引先	借方科目	借方補助科目	借方消費税区分	借方部門	借方金額	貸方科目
2024/05/01	出張費仮払い		仮払金	社内仮払			65,000	現金
2024/05/01		関東みらい信金				共通	100,000	普通預金
2024/05/02	お茶菓子代(軽減)	横川物産	接待交際費		課仕入		5,260	現金
2024/05/02	4月追加分　現金払い	いわき綿花	商品仕入高	(株)いわき綿花	課仕入		22,000	現金
2024/05/02	スキャナ購入	ヤマカワ電機	消耗品費		課仕入		45,890	現金
2024/05/08	自販機手数料	コカ･コール				共通	5,800	雑収入
2024/05/08	ボールペン等購入	駒沢文具			仕入	共通	3,620	現金
2024/05/09	結婚祝い金				仕入	共通	30,000	現金
2024/05/09	参考書購入	紀伊屋書店			仕入	共通	2,600	現金
2024/05/09		メトロ			仕入	共通	390	現金
2024/05/10	贈答品購入(菓子)	山本商事			仕入	共通	3,240	現金
2024/05/11	切手購入	郵便局			仕入	共通	160	現金
2024/05/12	食事代2名分	エヌ商会			仕入	共通	26,000	現金
2024/05/13		メトロ	旅費交通費		課仕入	共通	390	現金
2024/05/14	参考書購入	紀伊屋書店	雑費		課仕入	共通	5,840	現金
2024/05/15	収入印紙代金	郵便局	租税公課		税外	共通	2,000	現金
2024/05/16	着払い	ヤマモト運輸	運賃梱包費		課仕入	共通	2,680	現金
2024/05/17	社内用生花	花束キューピット	雑費		課仕入	共通	3,500	現金
2024/05/18	中野坂上-荻窪	メトロ	旅費交通費		課仕入	共通	340	現金
2024/05/19	食事代2名分	会田商事	接待交際費		課仕入	共通	35,000	現金

外部データ取込の［F2 登録］において、必須項目が空欄の場合は通常の仕訳登録時と同様エラーが発生します。空欄がある場合は設定が必要です。

ファイル取込時の必須項目（CSV）	→	［F2 登録］時の必須項目
日付　金額		日付　金額　税区分（自動設定） 科目　補助科目（科目に設定されている場合） 部門（部門別集計＝するとしている場合）

なお、補助科目、部門が空欄の場合、その空欄をクリックするとそれぞれ「補助科目未入力」「共通」が設定されます。

貸方科目	貸方補助科目	貸方消費税区分
現金		
普通預金		

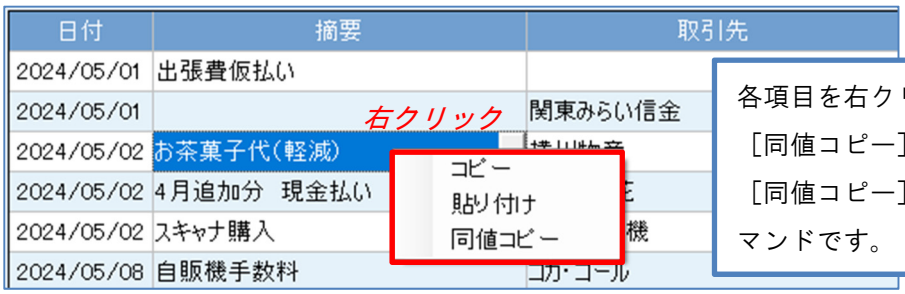
空欄をクリック、あるいはカーソルを当てる

貸方科目	貸方[…]助科目	貸方消費税区分
現金		
普通預金	補助科目未入[…]	

「補助科目未入力」が選択されます（部門の場合は「共通」が設定されます）。

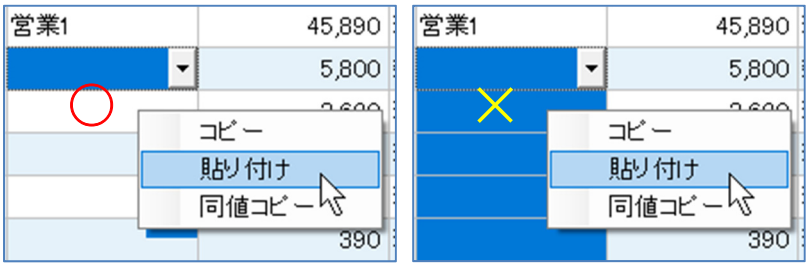
「外部データ取込」による仕訳作成

Ⅲ. コピー、貼り付け機能



各項目を右クリックすると［コピー］［貼り付け］［同値コピー］を選択することができます。
［同値コピー］は 1 行上の項目が設定されるコマンドです。

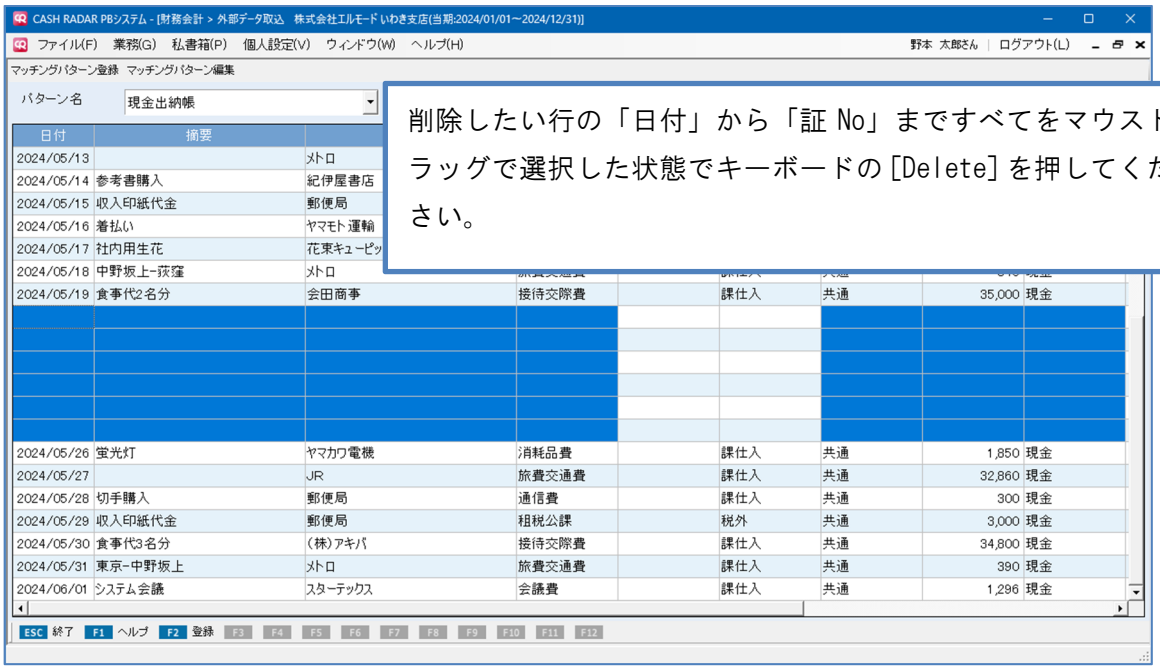
＜コピー／貼り付け＞



複数行を選択して［貼り付け］を行うことはできません。
なお、連続する複数行を［コピー］することは可能です。この場合の［貼り付け］は、その先頭行のみを選択して実行することになります（先頭行以降に貼り付けが行われる）。

Ⅳ. 不要な取込データの削除

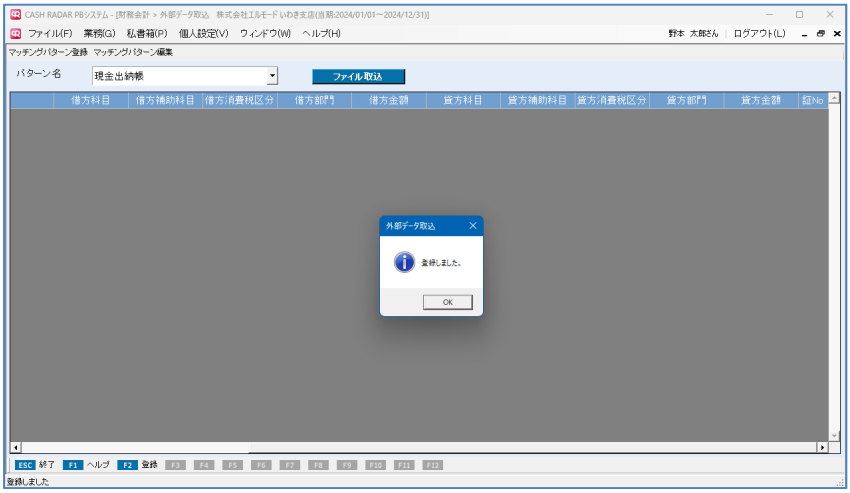
外部データ取込では「行削除」機能を設けておりません。
仕訳データとして登録しない取込データがある場合は、［F2 登録］を実行する前にマウスと Delete キーで削除作業を行ってください（すべて空欄である行は登録対象となりません）。



削除したい行の「日付」から「証 No」まですべてをマウスドラッグで選択した状態でキーボードの［Delete］を押してください。

「外部データ取込」による仕訳作成

⑧	仕訳データとして［F2 登録］

(1)		各種調整を行った取込画面で[F2 登録]をクリックします。
(2)		登録完了後、会計帳簿の各メニューで仕訳データとしての最終調整を行って下さい。

「外部データ取込」による仕訳作成

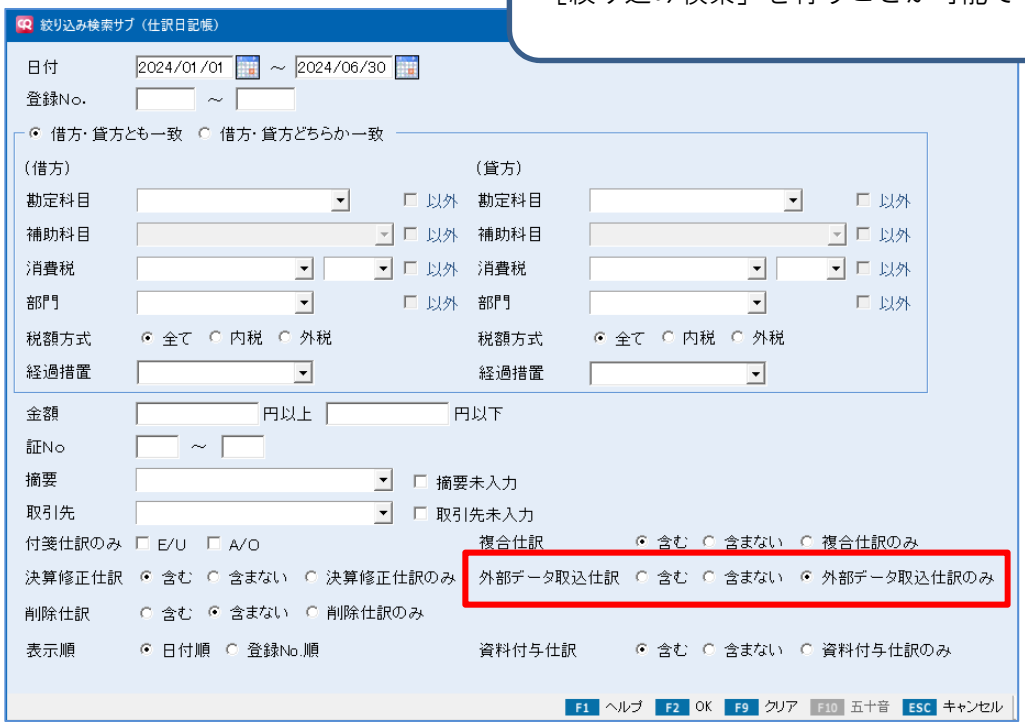
⑨	登録された仕訳データの調整

外部データ取込で［F2 登録］された仕訳は、通常仕訳と同様に仕訳日記帳など会計帳簿の各メニューで変更・修正・削除が可能です。

インボイスなど「外部データ取込」の画面では設定できない項目がありますので、取込実行後は、会計帳簿の各メニューにて取り込まれた仕訳の確認と調整を行って下さい。

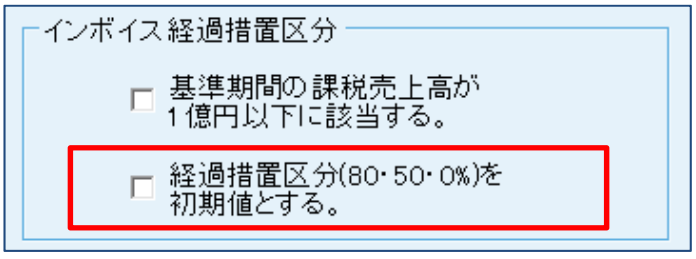
外部データ取込において作成された仕訳にはマークが表示されます。

また、仕訳日記帳、および総勘定元帳・補助元帳で［絞り込み検索］を行うことが可能です。



「外部データ取込」による仕訳作成

＜例＞仕訳日記帳画面

①	消費税区分	外部データ取込で設定した区分が設定されます。 必要に応じて調整をして下さい。
②	インボイス経過措置区分	基本情報設定[消費税関連]タブの「インボイス経過措置区分」における経過措置区分の初期値に基づいて設定されます。 取引先および金額(1 万円未満)による判定は行われませんので、インボイス設定済みの取引先を再選択するなど適宜調整を行って下さい。 
③	消費税金額	外部データ取込で設定された消費税区分と金額(総額)、並びに基本情報設定におけるインボイス経過措置区分の初期値に基づいて初期値が算出されます。

以上

株式会社エヌエムシイ　サポートセンター